

評価年度	令和 7 年度
担当課所	まちづくり観光課

【基本情報】

事業名称	長尾根直売所施設管理費
------	-------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	72	06	01	05	62	長尾根直売所施設管理費

事業期間	平成5年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	9,272	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	売上げ				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 28,000	(目標値) 28,000	(目標値) 28,000	(目標値) 28,000	(目標値) 28,000
実績値	(実績値) 18,156	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	64.8%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	5	2	3	4
二次評価	4	4	3	3	4

事業の実施理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>客が来ない⇒出荷が減る(野菜だけでは来てくれない)</li> <li>毎年約500万円程度の赤字となっていること</li> <li>出荷者が高齢化により年々減少していること</li> <li>(昨年度出荷者を対象に実施したアンケート結果により、5年以内に半数以上の方が出荷できなくなることがわかっている。)</li> </ul>
事業の概要	秩父ミュージックパーク南口サイクリングセンターと併設し農林産物直売所を平成5年から営業開始。登録農家から野菜や加工品、子供向けおもちゃや土産品等販売している。
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>客が来ない⇒出荷が減る(野菜だけでは来てくれない)</li> <li>毎年約500万円程度の赤字となっていること</li> <li>出荷者が高齢化により年々減少していること</li> <li>(昨年度出荷者を対象に実施したアンケート結果により、5年以内に半数以上の方が出荷できなくなることがわかっている。)</li> </ul>
今後の方針	可能な範囲で宣伝PRを行って営業していくが、数年以内には出荷者が半減するため、農林産物直売所以外の活用方法を検討していく。

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
19	農産物等の商品が少なくても問題ない、農林産物直売所以外の活用方法を検討したい。	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
18	農産物の出荷が少ないため、どう出荷者を増やすか、どう訪問者を増やすか、他の運用方法はあるか、等の検討をする必要がある。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	1	【コメント】
1…事業自体見直し	1	4…現状維持	3	
2…事業内容見直し	2	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
事業の見直し				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
運営方法の見直し。	A 事業継続 ② 事業の見直し C 事業廃止	一時は廃止の検討もされたが、出品者、利用者等からの継続希望が強く、指定管理、シルバー人材センター委託等について検討する。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	産業振興課

【基本情報】

事業名称	73 農協生産部会等活動費
------	---------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	73	05	01	03	17	農協生産部会等活動費

事業期間	～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	2,660	3,776	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	補助対象活動団体数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 10	(目標値) 10	(目標値) 10	(目標値) 10	(目標値) 11
実績値	(実績値) 10	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	2	2	2	1	3
二次評価	2	3	2	1	3

事業の実施理由	農業者が効率的かつ安定的な農業経営が行えるように各種農業団体での活動（生産性の向上やブランド力強化、販路拡大などの取組）に対し、補助金を交付することで、農業者相互の情報共有により、安定した農業経営が期待できる
---------	--

事業の概要	産業の振興を図るため各種団体等に対し、毎会計年度予算の範囲内において、補助金を交付する。また、県・地域農業協議会等への負担金 【必要経費】 農業団体 補助金 2,827千円（10団体）JAちちぶ園芸部会小鹿野支部外 協議会等 負担金 949千円（6団体）埼玉県農業共済組合事務費負担金外
-------	--

事業の課題	各農業団体の補助金額は例年同額交付となっているが、構成員数の減少により、活動費も減少し、繰越金が増加している団体がある
-------	---

今後の方針	各農業団体の決算・構成員数など、実情に基づき補助金額の見直しを行う
-------	-----------------------------------

【1次評価結果】

評価点計	10	【コメント】 令和7年度においては、農協の一部生産部会がコロナ禍以前の活発な活動水準を回復し、出荷・販売等に積極的に取り組んでいる状況が確認でき、補助金交付による一定の効果が認められる。一方で、一部団体については活動実績が限定的であり、繰越金の増加が見受けられることから、補助金額が実態に即していない可能性がある。今後は活動実績を適切に評価し、補助金額の見直しを行う必要がある。	今後の事業方針 C 来年度、改善・見直しを求める
------	----	--	-----------------------------

【2次評価結果】

評価点計	11	【コメント】 適正な補助金が交付できるよう、支出基準を検討する。活動実績によって、補助金の見直しを実施する。	今後の事業方針 C 来年度、改善・見直しを求める
------	----	---	-----------------------------

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】 ・補助金見直し減額した方がいい。 ・適正な金額基準を見直すべき時期と考えます。
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	2	
2…事業内容見直し	5	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
事業の見直し (現状を把握し適正な補助に見直す)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
現状把握と適正な補助金の支出。	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	補助対象の各組織の活動実態に応じた補助金額となるよう事業を見直す。真に支援が必要な組織へ重点的に配分できる制度設計を目指す。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	産業振興課

【基本情報】

事業名称	74 産業イノベーション事業費
------	-----------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	74	05	01	03	36	産業イノベーション事業費

事業期間	令和元年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	17,275	9,400	0	0	0

補助事業名	特別交付税措置
-------	---------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	現役隊員(着任・活動人)数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 3	(目標値) 2	(目標値) 2	(目標値) 3	(目標値) 4
実績値	(実績値) 3	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	2	2	3	4	3
二次評価	3	2	3	4	3

事業の実施理由	・人口減少社会における町の産業を発展させ、各種団地や地域が縮小しながらも、今までにない産業イノベーションを行うことで、地域の創世を目的とする。	
事業の概要	地域の活性化のため地域おこし協力隊委託型(既存1名・新規1名)を配置。また、既存1名が任期満了となるため、起業のための補助金(予定) 【必要経費】 ①産業イノベーション事業 委託料(1名):3,600千円(9ヶ月分) ②新規)鳥獣害対策事業 委託料(1名):4,800千円(12ヶ月分) ③起業等支援事業費補助金(1名):1,000千円	
事業の課題	・現在に至るまで、募集を行う際、各担当課で募集要項の作成、応募者との連絡調整、応募書類の受付を行うため、一元化した体制づくりが必要。 ・募集を行う際、各担当課の担当者間のみ業務が収まってしまうため、募集に係るノウハウの蓄積がされにくい。	
今後の方針	・協力隊募集要綱の見直し ・協力隊選考要領における評価基準の見直し	

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
14	・協力隊選考要領の見直しや、募集・採用を行う際に関係課との調整が必要となる。 ・継続的に年度毎に募集・採用を続けたい方針。	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
15	・退任後のロードマップも考えて採用にあたりたい。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】
1…事業自体見直し	1	4…現状維持	1	
2…事業内容見直し	4	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
事業の見直し				

※委員1名未評価

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
地域おこし協力隊へのバックアップが大切。	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	地域おこし協力隊へのバックアップについては、担当職員のみならず、集落支援員の活動内で、地域おこし協力隊員への活動サポートを総合的に行っている。また、仕様書について内容検討を重ねていき、地域課題に解決に向けた取組みが出来るような仕組みづくりを目指す。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	産業振興課

【基本情報】

事業名称	75 新規就農者等育成事業費
------	----------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	75	05	01	03	37	新規就農者等育成事業費

事業期間	平成27年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	----------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	2,889	11,520	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標 (KPI)・実績値】

項目	認定新規就農者・認定農業者の認定数(単位:人、組織)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 27	(目標値) 29	(目標値) 31	(目標値) 33	(目標値) 35
実績値	(実績値) 19	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	70.4%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	5	3	4	4
二次評価	3	4	3	3	4

事業の実施理由	町の農業振興のため、農協出荷、農産物直売所出荷等の販売を目的に営農している者、町の特産品の開発のため、酒造好適米を生産・販売する農業者に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。今年度においては、新たに就農予定の担い手農家の受け入れを予定していることから、研修用ハウスの整備費を計上。
---------	---

事業の概要	担い手農家受け入れ用の研修ハウスの整備費 新規就農者等補助金(新規就農者用2人、認定農業者用2人)、酒米支援補助金2人 【必要経費】 研修用ハウス整備費 需用費 200千円 委託料 200千円 工事請負費 5,000千円 新規就農者等支援補助金 補助金 6,000千円 酒米支援補助金 補助金 120千円
-------	--

事業の課題	新規就農者においては、一定数の農業者が営農を継続し、地域農業への定着が図られている。定着した農業者が農機具の更新時期を迎える中、トラクターや管理機等の基幹機械の購入費については新規就農者のみを補助対象としているため、農業者からは機械更新時の負担軽減を求める声が上がっている。
-------	---

今後の方針	継続的な営農支援の観点から、基幹機械に係る補助対象者の範囲拡大について要綱整備の検討していきたい。また、町の特産品振興として酒米生産者への補助についても、今後、補助事業の周知を実施し、事業利用を促していきたい。研修用ハウスの整備費用については、指導農家がハウス整備を行うため、補助金として交付する(6月補正)。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	19	【コメント】 周知の効果もあり認定農業者数が増加しており、農業者に対する営農支援が一定程度実現できている。本制度は出荷を目的とする意欲的な農業者への支援を原則としていることから、真に支援を必要とする農業者に対して効果的な支援が行き届くよう、要綱の見直し・整備を進めていく必要がある。	今後の事業方針 A 現状維持(従来通り実施)
------	----	--	---------------------------

【2次評価結果】

評価点計	17	【コメント】 農業の担い手育成に必要な支援であり、継続して実施する必要がある。	今後の事業方針 A 現状維持(従来通り実施)
------	----	--	---------------------------

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	1	【コメント】
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	6	
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	産業振興課

【基本情報】

事業名称	76 新規就農者育成総合対策事業
------	------------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	76	05	01	03	38	新規就農者育成総合対策事業

事業期間	令和元年 ~ 令和8年	事業終期	令和8年度
------	-------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	4,200	2,700	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	事業利用農業者				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 3	(目標値) 3	(目標値) 2	(目標値) 3	(目標値) 3
実績値	(実績値) 3	(実績値) 2	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%	66.7%			

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	5	3	4	4
二次評価	5	4	3	5	5

事業の実施理由	指導農家の元で修行をしていた新規就農者が、独立して新たに経営を開始する際の資金を助成し、定着を促すもの。
---------	--

事業の概要	新規就農者育成総合対策事業(経営開始資金) 新規就農した個人を対象にした国庫補助事業で、年間の給付を予定。 予算は国負担10割。 【必要経費】 新規就農者育成総合対策事業 補助金 4,200千円
-------	---

事業の課題	当該事業の補助金受給者が離農したり、書類の提出を怠ったりした場合、国庫納付(補助金返還)が発生する。 定期的に会計検査院による会計検査が実施されている。
-------	---

今後の方針	継続して事業を実施していきたい。 新規就農者を増やし、事業利用者の増加を目指す。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
21	継続して実施していきたいと考える。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
22	県補助金の間接補助金のため継続して実施する。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	1	【コメント】
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	6	
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	産業振興課

【基本情報】

事業名称	遊休農地解消総合対策事業
------	--------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	77	05	01	03	81	遊休農地改良総合対策事業費

事業期間	令和6年度 ～ 令和10年度	事業終期	令和10年度
------	----------------	------	--------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,781	1,754	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	遊休農地を10,000㎡解消する。				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 10,000	(目標値) 10,000	(目標値) 10,000	(目標値) 10,000	(目標値) 10,000
実績値	(実績値) 0	(実績値) 6,221	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	0.0%	62.2%			

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	2	2	2	2	3
二次評価	3	2	2	3	4

事業の実施理由	遊休農地を解消するには、伐採や耕起等に機械借上料や委託料、燃料費がかかり、作付けをするのに農薬や肥料、苗木・種苗等が必要であり、農業者が多額の費用を負担することになるため、その負担軽減になるよう実施している。
---------	--

事業の概要	遊休農地等活用事業補助金 遊休農地等の解消及び有効活用を図るため、遊休農地等の再生利用に要する経費に対し、予算の範囲内において、遊休農地等活用事業補助金を交付する。補助金額は、補助対象経費の10分の8とし、15万円を上限とする。 【必要経費】 補助金 1,500千円 (15万円×10件)
-------	--

事業の課題	近年の物価高騰により、農業者が経営を継続することが困難な状況と高齢化により農地を管理できないケースが増え、耕作放棄地の荒廃化などが課題となっている。
-------	--

今後の方針	遊休農地等活用事業補助金のさらなる周知を行い、遊休農地の解消につなげていく。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
11	増える遊休農地を解消したいが、農業の担い手が足りていない。やる気のある農業者の遊休農地解消の支えになるよう継続したい。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
14	遊休農地解消の支えになるよう積極的に実施する。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	6	
2…事業内容見直し	1	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	産業振興課

【基本情報】

事業名称	有害鳥獣駆除実施費
------	-----------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	78	05	02	02	15	有害鳥獣駆除実施費

事業期間	令和元年 ~ 令和8年	事業終期	令和8年度
------	-------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	2,937	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	9,037	0	0	0	0

補助事業名	第二種特定鳥獣個体分析調査業務アライグマ個体分析調査業務
-------	------------------------------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	小鹿野町鳥獣害防止計画における鳥獣被害面積縮小目標 (ha)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 3.72	(目標値) 3.72	(目標値) 3.53	(目標値) 3.53	(目標値) 3.53
実績値	(実績値) 3.38	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	110.1%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	4	5	4	4
二次評価	3	4	3	5	4

事業の実施理由	鳥獣の個体数の増加による農林業への被害を防ぐために、農地の保護、狩猟者の確保において必要な事業であると思われる。
---------	--

事業の概要	防護柵設置費補助金(防護柵等設置費補助金交付) 有害鳥獣の捕獲委託(有害鳥獣駆除の従事者証交付、狩猟者登録補助金等交付、シカ・イノシシ・サル・アライグマ・ハクビシン・タヌキ・カラス個体分析調査、有害鳥獣捕獲業務委託5支部、猟銃用火薬類無許可譲受表発行手数料負担) 有害鳥獣捕獲器等の購入(有害鳥獣捕獲用ワナ購入、鳥獣撃退用品購入) 長若鳥獣対策協議会(小鹿野町鳥獣害対策協議会補助金支給、長若地域鳥獣害対策協議会補助金支給)
-------	---

事業の課題	鳥獣の増加のスピードに有害鳥獣捕獲が追いついておらず被害が増加している。防護柵の設置について補助事業を実施しているが、未実施の農地への被害や対策した鳥獣以外の鳥獣による被害が発生している。特にサルについては対策が難しく、防護柵をしっかり張っていても木や電柱から飛び込むなどがあるので集落単位での対策が必要となっている。住宅に住み着いた小動物については、家の中にワナを設置することができないため対策が困難である。有害鳥獣捕獲業務に従事していただく狩猟者の高齢化により町内の従事者が減少している。
-------	--

今後の方針	住民の生活環境の保全及び農林業の被害の軽減に向け、有害鳥獣の捕獲及び防護柵及び環境整備の周知・推進を実施していきたい。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
20	次年度以降活動を通じて、環境保全事業の実施に向け情報収集を実施し、町民に対して必要性のある活動が実施出来るよう改善していく	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
19	有害鳥獣対策は、農業振興にとって必要な施策である。効果的な対策が行えるよう関係機関と連携して対策を実施していく。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

	0	3	0	[コメント]
0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	・山間地域では小動物の活動範囲が拡大している。今後取り組みを適正に強化しないと観光地や街中への出没につながり、町民の安全と観光に大きな打撃を受けると考える。
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	4	
2...事業内容見直し	1	5...事業拡大	1	
外部評価結果				
現状維持				

※委員1名未評価

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊶ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	産業振興課

【基本情報】

事業名称	森林環境譲与税運用事業費
------	--------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	79	05	02	01	13	森林環境譲与税運用事業費

事業期間	令和元年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	25,193	37,608	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	特別交付税措置
-------	---------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	小鹿野町森林整備事業補助金を活用した森林整備件数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 5	(目標値) 5	(目標値) 5	(目標値) 5	(目標値) 5
実績値	(実績値) 1	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	20.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	2	5	3	4
二次評価	3	2	4	2	4

事業の実施理由	平成31(2019)年3月に「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が成立し、「森林環境税」(令和6(2024)年度から課税)及び「森林環境譲与税」(令和元(2019)年度から譲与)が創設された。これにより、町において、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林整備及びその促進に関する費用」に充てている。
事業の概要	森林環境譲与税を財源に森林整備や木材利用等の普及啓発活動を行う。
事業の課題	森林の間伐・整備を推進し、土砂災害の防止やCO <sub>2</sub> 吸収源の保全を図ることができる。また、地域の林業・木材産業の活性化を行い、地域住民の森林への関心・参加の促進を見込める。
今後の方針	秩父管内1市4町で組織する秩父地域森林林業活性化協議会と連携を図り事業を推進する。同協議会は、森林整備に特化した集約化推進室展開している。

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
17	譲与税の使い道が限られており、交付された税が使い切れず、基金積立を行っているため、各課へ周知を行い、財源の有効活用を行う。	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
15	森林環境譲与税を有効に活用するため、各課所と連携を図り、森林保全や木材利用等「活樹」を促進を図りたい。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	1	【コメント】 ・山間地域へのPR強化を行い、必要性のある森林のピックアップを積極的に実施していただきたい。
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	1	
2…事業内容見直し	4	5…事業拡大	1	
外部評価結果 事業の見直し (山間地域への積極的なPR)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
秩父地域森林林業活性化協議会と連携して森林集約化事業の推進	A 事業継続 ⓑ 事業の見直し C 事業廃止	各種イベント等でワークショップ等を行い山間地域のPRを行う。秩父地域森林林業活性化協議会と連携して、町が主となり森林整備、活樹の促進を行う。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	産業振興課

【基本情報】

事業名称	食用茸栽培育成事業費
------	------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	80	05	02	02	15	食用茸栽培育成事業費

事業期間	令和元年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	10,000	10,000	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	生産者数を毎年増やす				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
	1	2	3	4	5
実績値	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
	0				
達成率	0.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	2	3	2	1	3
二次評価	2	3	2	1	3

事業の実施理由	きのこの安定供給と品質の維持・向上を図るためには、生産者間の連携や統一的な栽培管理・出荷体制が不可欠です。生産基盤の強化を図るために行います。
---------	---

事業の概要	食用茸栽培育成事業 ●JAちちぶ農協小鹿野きのこ部会、両神椎茸組合への助成
-------	--

事業の課題	近年、生産資材の高騰や生産者の高齢化、後継者不足など、持続的な生産体制の確保が課題となっています。これらの課題に対応するため、きのこ部会では生産技術の向上、若手育成、経営安定化を目的とした取組みを実施する必要があります。
-------	--

今後の方針	組合員の減少や生産活動の縮小により、JAからの補助申請が滞っている。活動内容によっては、補助金の見直しをかけるべき。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
11	次年度以降活動を通じて、町民に対して必要性のある活動が実施出来るよう改善していく	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
11	適正な補助金が交付できるよう、支出基準を検討する。活動実績によって、補助金の見直しを実施する。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	3	[コメント]
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	1	
2…事業内容見直し	3	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
事業の見直し				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	A 事業継続 ⓑ 事業の見直し C 事業廃止	現状JAちちぶが申請窓口となっているが、申請がない。生産者の中には補助金が必要との声もある。持続的に生産が行えるよう基準を見直し、必要な方へ行き届くよう検討を行う。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	産業振興課

【基本情報】

事業名称	森林管理道改良事業費
------	------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	81	05	02	02	22	森林管理道改良事業費

事業期間	令和元年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,300	1,300	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	安全を確保するための道路改良数(箇所)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 5	(目標値) 5	(目標値) 5	(目標値) 5	(目標値) 5
実績値	(実績値) 2	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	40.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	3	4	2	3
二次評価	4	3	4	2	4

事業の実施理由	森林資源の適切な管理・保全を森林整備を行うために整備を行います。また、沿道には人家があり、住民の生活道路としての役割も担っています。
---------	--

事業の概要	森林管理道の老朽化・損傷箇所の改良工事
-------	---------------------

事業の課題	長年の使用や豪雨・積雪等の自然災害により、路面の損傷・法面崩壊などが発生している箇所があるため、整備について検討を行わなければなりません。
-------	---

今後の方針	改良が必要となった森林管理道については、継続的に改良工事を行っていく。
-------	-------------------------------------

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
16	路線改良の優先順位付けを行い継続的に整備を行っていきます。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	定期点検を行い路線改良の優先順位付け継続的に整備を行う。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】 ・林道の補修が不足している箇所が多くみう けられます。点検強化と積極的な補修をお願い したい。
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	6	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	1	
外部評価結果 現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	産業振興課

【基本情報】

事業名称	森林管理道舗装事業費
------	------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	82	05	02	02	70	森林管理道舗装事業費

事業期間	令和元年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	3,273	4,005	0	0	0
地方債	9,200	10,500	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	27	45	0	0	0

補助事業名	県単独森林管理道改良事業補助金
-------	-----------------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	林道の舗装率(%) (全長53,508m 舗装37,579mR7.4現在)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 70.2	(目標値) 70.4	(目標値) 70.6	(目標値) 70.8	(目標値) 71
実績値	(実績値) 70.2	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	3	4	3	4
二次評価	3	3	4	3	4

事業の実施理由	舗装後の経年劣化により、路面のひび割れ・陥没・段差等が各所に発生しております。場所によっては、人家も存在し、て安全な通行を行うために舗装打換等を行います。
---------	---

事業の概要	森林管理道の舗装打ち換え等
-------	---------------

事業の課題	長年の使用や豪雨・積雪等の自然災害により、路面の損傷・法面崩壊などが発生している箇所があるため、整備について検討を行わなければなりません。
-------	---

今後の方針	舗装の劣化状況を確認し、優先順位付けを行い順次舗装工事を行います。
-------	-----------------------------------

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	各路線の舗装状態を実際に確認しながら、状態によっては優先順位を付けて舗装工事を行っていきたい。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	利用頻度の多い路線から舗装状態を実際に確認しながら、優先順位を付けて実施する。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】 ・森林管理道の舗装劣化が多くみうけられます。点検強化と積極的な補修をお願いしたい。
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	7	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	まちづくり観光課

【基本情報】

事業名称	ふるさとまつり開催事業
------	-------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	62	06	01	03	16	ふるさとまつり開催事業費

事業期間	令和6年度 ~ 令和10年度	事業終期	令和8年度
------	----------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,000	7,300	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	会場入込客数10,000人				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 10,000	(目標値) 10,000	(目標値) 10,000	(目標値) 10,000	(目標値) 10,000
実績値	(実績値) 9,000	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	90.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	4	2	4	3
二次評価	4	4	3	4	3

事業の実施理由	郡内町村での同様のまつりが廃止されていく中で唯一残っており毎年楽しみされている方々も多いが、昨今の物価、人件費の上昇等による費用の増加、景気等の影響による事業者からの賛助金の減少等がある。
---------	--

事業の概要	まつり実行委員会への開催費補助金、補助金の他町内事業者等から寄附金を集め開催している。合併前の旧両神村で開催していたものを継続して開催しており今年で第49回となる。ふるさと音楽祭（歌謡ショー90分2名）、ふるさと芸能（神楽、屋台囃子等9団体出演）、町の特産品、味自慢コーナー（25団体出店）、商工祭（ゲームコーナー等）9:30開始、15:50終了。
-------	--

事業の課題	郡内町村での同様のまつりが廃止されていく中で唯一残っており毎年楽しみされている方々も多いが、昨今の物価、人件費の上昇等による費用の増加、景気等の影響による事業者からの賛助金の減少等がある。
-------	--

今後の方針	上記課題を含め、今年度まつり実行委員会(各出演、出店団体)に、来年度以降のまつり開催について、アンケート形式による意向調査を実施し、来年度以降のまつり開催の方向性を決定する。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	今後の開催方法等について実行委員会各委員の意見を伺いながら検討を進める。	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
18	歌手の誘致に関する金額が大きすぎる。今後実行委員会の中で今後のふるさと祭りについて検討し、新たなまつり形式等の検討を行いたい。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	2	【コメント】 投資効果が釣り合わない気がする。興行でもないのにギャンブルが高すぎる。駐車場代を取るとか、環境金とかで領金を取るとか。仕組みも改めて考える必要がある。有名歌手じゃなくて若手芸人など。新しく変化するチャンス。 ・他のイベントとの同時にするなどコンパクトに。 ・合併時に約束したことなので続けてほしい。 ・歌手の誘客力なしでは開催できないか。
1…事業自体見直し	1	4…現状維持	2	
2…事業内容見直し	2	5…事業拡大	0	
外部評価結果 事業の見直し (投資効果を踏まえイベントの仕組みを検討、他事業との統合も含め見直し)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
小鹿野町両神ふるさとまつりは継続して実施したいが、歌謡ショーの実施については費用対効果を検証し実施検討する。参加者の皆様が飲食しながら楽しめることが大切。	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	実行委員会委員へのアンケート結果、引き続き歌謡ショーを含め継続したい意向が非常に強く現状では縮小、廃止は難しい。ただし今年度より予算額は縮小している。また改善等可能なものは改善を進める

評価年度	令和 7 年度
担当課所	まちづくり観光課

【基本情報】

事業名称	観光交流館管理費
------	----------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	71	06	01	03	96	観光交流館管理費

事業期間	令和7年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	900	900	0	0	0
一般財源	780	780	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	地域のお祭りやイベント等での活用を図る。年間貸し出し件数8件を目標とする。				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 8	(目標値) 8	(目標値) 8	(目標値) 8	(目標値) 8
実績値	(実績値) 8	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	4	4	1	3
二次評価	4	4	4	3	4

事業の実施理由	中心市街地にある観光交流拠点施設として整備されている。施設内では飲食店を運営し、町中では貴重な駐車場スペースを提供している。
---------	--

事業の概要	観光交流館の維持管理費 【必要経費】 需用費（消耗品費・光熱水費・修繕費） 1,453千円 役務費（通信運搬費・火災保険料）198千円 委託料（消防設備点検委託料）29千円
-------	---

事業の課題	小鹿野町観光交流館付帯施設の改修または解体撤去を検討する必要がある。
-------	------------------------------------

今後の方針	業務委託スペースを除く町が所管するスペースの利活用を検討する。
-------	---------------------------------

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
15	小鹿野町中心市街地(商店街)の貴重な駐車場スペースを確保している。飲食店部門の営業をゑびすやに委託しており、観光客の飲食や宴会等でも利用されている。ゑびすやへ委託している部分以外のスペースの利活用を検討する必要がある。(駐車場スペースの約半分が町職員の駐車場・総務課にてEV充電スタンドの設置が行われている。)	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
19	観光交流館施設のうち一部はゑびすやへ業務委託している。それ以外の町直営管理のスペースの利活用を検討する必要がある。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】 ・ゑびすや以外のスペースの活用を。
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	3	
2…事業内容見直し	4	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
事業の見直し (店舗以外のスペースの有効活用を検討)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
陣屋舞台の前方に屋根をかける改修が必要と考える。	A 事業継続 ⓑ 事業の見直し C 事業廃止	年間の陣屋舞台利用実績と維持管理に係る費用を考慮し、仮設の屋根等で対応可能かどうかも含めて令和8年度中に検討する。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	産業振興課

【基本情報】

事業名称	84 中心市街地活性化事業
------	---------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	84	6	01	2	21	中心市街地活性化事業

事業期間	令和元年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	7,750	7,760	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	ふるさと応援基金繰入金
-------	-------------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	西秩父商工会(小鹿野地区)会員数の維持				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 405	(目標値) 405	(目標値) 405	(目標値) 405	(目標値) 405
実績値	(実績値) 405	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	5	4	4	4
二次評価	3	5	5	5	4

事業の実施理由	商業の活性化を図るため、中心商店街の建物、路地など景観を活用したイベントや商店街におけるイベントへの支援
---------	--

事業の概要	商店街の活性化のため商工団体等へ補助金を交付する 【必要経費】 イベント消耗品 消耗品費 10千円・西秩父商工会 補助金6,000千円・シルクロード商店街 補助金550千円・セタフェスティバル 補助金900千円・おがの路地まち研究会補助金300千円
-------	--

事業の課題	継続している補助金のため、事業(イベント)内容の効果測定
-------	------------------------------

今後の方針	補助金交付者とのヒアリング
-------	---------------

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
20	次年度以降活動を通じて、町民に対して必要性のある活動が実施出来るよう改善していく	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
22	事業主体の要望・意向をくみ上げ必要性のある活動を支援したい。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】 ・ヒアリングは大切。
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	5	
2…事業内容見直し	2	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	産業振興課

【基本情報】

事業名称	店舗・住宅リフォーム資金助成事業
------	------------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	88	6	01	2	70	店舗・住宅リフォーム資金助成事業費

事業期間	令和元年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,000	6,000	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	当事業により発生した経済効果(工事費)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
	100,000,000	120,000,000	0	0	0
実績値	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
	112,816,167				
達成率	112.8%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	2	2	2	3	3
二次評価	2	2	2	5	3

事業の実施理由	町の経済活性化・町内業者保護。定住促進、事業者の活性化などの推進。
---------	-----------------------------------

事業の概要	町内居住者を対象に店舗・住宅リフォームのための資金を助成する 補助率は1/10。 上限はそれぞれ店舗20万円、住宅10万円。店舗・住宅併用の場合は30万円。
-------	--

事業の課題	町民の約半数が高齢者であり、後継者不足もあり、今後空き家などが増えていくことが懸念される。人口及び世帯数の減少への対策が課題といえる。
-------	---

今後の方針	住環境の整備促進及び町内事業者の活性化を目的として継続する。
-------	--------------------------------

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
12	次年度以降活動を通じて、町民に対して必要性のある活動が実施出来るよう改善していく	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
14	町内事業者の活性化を目的として、別メニューがあれば支援内容を見直したい。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

				[コメント]
0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	2	
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	2	
2…事業内容見直し	3	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
事業の見直し				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	中小企業支援という観点から、対象工事基準等を見直すことで幅広い事業者へのアプローチを目指す。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	まちづくり観光課

【基本情報】

事業名称	小鹿野癒しの宿組合補助金
------	--------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	59-3	06	01	03	11	小鹿野癒しの宿組合補助金

事業期間	令和元年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	450	450	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	パンフレット配布枚数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 50	(目標値) 100	(目標値) 200	(目標値) 200	(目標値) 200
実績値	(実績値) 40	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	80.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	4	3	4	4
二次評価	4	4	3	4	4

事業の実施理由	宿泊事業者においては、観光客や学生団体等の誘客を図り観光消費を発生させる重要な位置づけであり、小鹿野町の滞在時間の延長を促す上で最大のキーパーソンである。そのため、各宿泊事業者の紹介をするパンフレット更新や研修会開催など活動に関する補助金を交付している。
事業の概要	小鹿野町の旅館や民宿など9件で構成されている「小鹿野癒しの宿組合」に対して活動費補助金として1件あたり5,000円の補助金を交付している。
事業の課題	組合は構成されているが、各宿のプロモーションについては、各宿のHPやSNS発信等に依存している。
今後の方針	継続して補助金を交付し、活動を支援する。宿泊施設に更なる誘客を促すことにより町全体の観光消費額の増加を狙う。外部環境に対してパンフレットの他にSNS等を活用したプロモーション施策を図る必要があると考えられる。

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
19	町全体の観光消費を図る上で重要であるため、継続して実施していく。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
19	町の観光資源の活用、宿泊施設のPRに不可欠なため、引き続き実施してまいりたい。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	1	[コメント]
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	5	・KPIであるパンフレット配布数を倍数とする高い目標であるが、町内ばかりでなく秩父郡市、西武線沿線での配布も検討できればなお広がるかもしれない。各宿泊施設は海外客をターゲットにする昨今の観光業の流れに合わせ、高級化・高額化の傾向にある一方で、地元民を対象とした宴会受注などを縮小しているが、観光は宿泊施設単独では成り立たないのに、地元民との意識乖離に進んでいてやや懸念を抱く。また、障がい者への配慮について意識の低い宿泊施設が多く「湯あみ着」さえ常備されていない施設がある。経営者の意識改革も必要と考える。
2…事業内容見直し	1	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	Ⓐ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	まちづくり観光課

【基本情報】

事業名称	観光振興団体支援事業
------	------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	60	06	01	03	12	観光振興団体支援事業

事業期間	平成26年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	----------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,200	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	補助期間を終了して自立した団体の数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 0	(目標値) 0	(目標値) 3	(目標値) 1	(目標値) 1
実績値	(実績値) 0	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率					

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	5	2	5	4
二次評価	5	5	3	3	4

事業の実施理由	令和7年度をもって追加交付期間が終了となる団体が3団体あり、各団体から事業継続には補助金が不可欠との意見をいただいている。(紫陽花公園記念植樹会・尾ノ内溪谷氷柱実行委員会・西秩父ライオンズクラブ)
---------	--

事業の概要	町内で観光振興を自主的に行おうとする団体に補助金を交付する。 通常交付期間 (5年間) 総事業費の7割・上限100万円 追加交付期間 (5年間) 総事業費の5割・上限50万円
-------	---

事業の課題	令和7年度をもって追加交付期間が終了となる団体が3団体あり、各団体から事業継続には補助金が不可欠との意見をいただいている。(紫陽花公園記念植樹会・尾ノ内溪谷氷柱実行委員会・西秩父ライオンズクラブ)
-------	--

今後の方針	未定
-------	----

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
21	交付期間終了後に自立することを前提にしているが、各団体の事業は小鹿野町の観光に不可欠であるため、地域の頑張りや評価し、実績(入込客数や事業収入)に応じた補助率により補助金を交付する等、要項改正も含めて検討したい。	C 来年度、改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
20	各地域の主導による地域資源の発掘から様々な観光資源が生みだされ、それを徐々に補助金無しで運用できるように支援している。ただし、補助金が無くては運営できないなどの声が多く、来年度に向け補助金の金額や期間の検討が必要。	C 来年度、改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	1	【コメント】 ・活気を感じる活動団体であり、町としても支援制度を拡充すべきと考える
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	1	
2…事業内容見直し	3	5…事業拡大	2	
外部評価結果 事業の見直し (各団体の実績を把握し、自走出来るような支援になるよう見直す)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
追加交付期間の年限を撤廃する方向で検討する。	A 事業継続 ⓑ 事業の見直し C 事業廃止	加交付期間の年限を撤廃する方向で要綱を改正する。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	まちづくり観光課

【基本情報】

事業名称	観光協会補助事業費
------	-----------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	61	06	01	03	15	観光協会補助事業費

事業期間	平成18年 ~ 令和8年	事業終期	令和8年度
------	--------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,800	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	(観光協会として)事業実施件数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 13	(目標値) 13	(目標値) 14	(目標値) 14	(目標値) 16
実績値	(実績値) 11	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	84.6%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	5	2	3	4
二次評価	5	5	3	3	4

事業の実施理由	特になし	
事業の概要	小鹿野町観光協会へ補助金を交付している。	
事業の課題	特になし	
今後の方針	引き続き事業を実施する	

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
19	地域の観光事業者等会員と連携し、柔軟に観光情報の発信やイベント開催を行っていただくために、来年度以降も引き続き補助金を交付していきたい。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
20	町の観光情報の発信やイベント開催に協会の運営は欠かせない。引き続き観光協会の支援による町の観光発展に努めたい。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	[コメント]
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	5	・新たな観光資源づくりにも取り組んでほしい。(例)聞くところによるとマンホール図柄を工夫し、札所めぐりならぬマンホール巡りで若者が賑わう自治体もあるそうです(彼ら彼女らはマンホーラーと呼ばれるそうです)ウエルカムバイクや観光バス・観光タクシーと連携すると来町者増加も見込めるのではないかと。
2...事業内容見直し	1	5...事業拡大	1	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	まちづくり観光課

【基本情報】

事業名称	クライミングによるまちおこし事業費
------	-------------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	66	06	01	03	30	クライミングによるまちおこし事業費

事業期間	令和2年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,088	1,200	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	小鹿野町クライミングパーク神悦館年間売上金額1,000万円を目標とする。				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 1,000	(目標値) 1,000	(目標値) 1,000	(目標値) 1,000	(目標値) 1,000
実績値	(実績値) 490	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	49.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	3	3	3	4
二次評価	4	4	3	3	4

事業の実施理由	クライミングによるまちおこし事業の拠点施設である小鹿野町クライミングパーク神悦館において、定期的なイベントの開催・課題セット作業（ホールド付け替え作業）を実施することでクライミングスポーツの普及に繋げる。
---------	--

事業の概要	小鹿野町クライミングパーク神悦館を中心として展開するクライミングによるまちおこし事業に係る経費 【必要経費】 イベント開催費用 業務委託料 600千円（一般財源） ルート設定業務委託費用 業務委託料 600千円（一般財源）
-------	---

事業の課題	クライミングスポーツは、体力と知力を同時に鍛えられる魅力的なスポーツでありながらも重大な事故やケガに繋がるリスクを抱えている。そのため、初心者が取りかかるとにはある程度のハードルが存在している。経験者を飽きさせない取り組みを続けながらも初心者が取り付きやすい環境を整備することも課題である。
-------	---

今後の方針	令和6年度から小鹿野町クライミングパーク神悦館を会場として開催されることとなった中学生の全国大会「全国中学生ボルダークラシック大会」は、令和7年度も小鹿野町クライミングパーク神悦館を会場として開催された。本大会は日本国内に留まらず海外からのエントリーもあり、中学生達にとっての夢の舞台となりつつある。そういった全国大会を毎年小鹿野町へ誘致することで、クライミングのまちとしての小鹿野町の知名度向上、また、クライミングスポーツの聖地としてのクライミングパーク神悦館の確立を目指していく。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
17	令和7年度中に条例の一部改正を実施し、利用料金の見直しを行い、令和8年度からより一層の収益化を見込む。赤字幅を削減した上で令和9年度から指定管理者により管理を行わせるよう調整して行く。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
18	赤字幅は運営努力により圧縮してきている。日本一を決める中学生全国大会にも当館が使われ、優勝者は海外でも活躍している。クライミングの聖地を目指す位置付けにあり、今後も観光の核の一つとして維持する必要がある。ただし、利用料金や利用時間の検討は引き続き進める必要がある。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	1	3…他事業と統合検討	1	【コメント】 ・議事に結論を任せの方が良い。(解体費はどうするのか) ・「歓迎！！全国中学生ボルダークラシック大会」といったチラシまたはたれ膜などでPRを強化してほしい。全国大会が小鹿野で開催されていることを町民のほとんどが知らないでいると思います。今後は、町民の関心が高まり、町の誇りのひとつとして認識してもらえようようにしたい。
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	2	
2…事業内容見直し	2	5…事業拡大	1	
外部評価結果 事業の見直し (積極的なPR活動を推進するとともに、運営方法について見直しを行う)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
指定管理者制度の導入検討。	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	令和9年度から指定管理者による管理体制を導入することを目標に令和8年度中に調整する。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	まちづくり観光課

【基本情報】

事業名称	両神山麓花の郷ダリア園支援事業費
------	------------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	67	6	1	3	33	両神山麓花の郷ダリア園支援事業費

事業期間	令和元年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	348,466	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	観光入込客数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 20,000	(目標値) 20,100	(目標値) 20,200	(目標値) 20,300	(目標値) 20,350
実績値	(実績値) 20,011	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.1%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	4	3	5	4
二次評価	5	4	3	5	4

事業の実施理由	花と歌舞伎と名水のまちであるため、ダリアは重要な観光資源であると考えており、観光戦略として事業を実施している。
---------	---

事業の概要	小鹿野町の秋を彩るダリア園。地元組織と連携し、毎年秋の観光客数増加を牽引する事業となっている。主に、現地高齢化等により労働力が低下した点を補うシルバー人材センター委託料となっている。令和7年度はダリア園自体にも業務委託するため費用が増加している。
-------	---

事業の課題	高齢化により団体の活動力が年々低下しており、いつまで活動できるかが課題。
-------	--------------------------------------

今後の方針	集落支援員制度などを有効に活用し、新たに牽引できる人材を地域でほりおこし、リーダーとなっていただけよう検討していきたい。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
21	主軸となる両神山麓花とみどりを育てる会が高齢化している。平均70歳オーバーで構成される本組織について、次世代の育成を行い、持続性を担保する必要があるが、既存団体の意思が固く、外部人材の誘致はリスクである。よって、並行で集落支援員制度の活用など検討しながら、備えをしておくような現状が激変しない対応を求められる。	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
21	運営母体高齢化による今後の体制維持のための抜本的改革が必要。一方で、繊細なダリアを育てるにあたり外部人材の誘致がなかなか難しく進まない実態がある。今後の運営が課題。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	2	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	1	・町からの協力がほしい(ダリアだけでなく小鹿野町の他の花にも予算を組んでほしい。花と歌舞伎と名水の町なので) ・ダリア園の作業手伝いを、高校や中学校の課外活動に組み入れてもらうとか、学校・企業・役場などに園芸部を創設してもらうとか、若者世代のパワーを引き込める仕組みづくりを検討していただきたい。町の活性化やコミュニティの持続性も高まるのでは？
2…事業内容見直し	4	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
事業の見直し (次世代へつなぐ仕組みづくりを検討する)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
指定管理者制度の導入検討。	A 事業継続 ⓑ 事業の見直し C 事業廃止	仮に指定管理化をしたとして、現在の熟成した複雑なスキームを踏襲出来るとは限らないため、慎重に精査する。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	まちづくり観光課

【基本情報】

事業名称	神怡館施設管理費
------	----------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	68	06	01	03	41	神怡館施設管理費

事業期間	令和2年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	3,500	5,174	0	0	0
一般財源	0	13,479	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	小鹿野町クライミングパーク神怡館年間売上金額1,000万円を目標とする。				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 1,000	(目標値) 1,000	(目標値) 1,000	(目標値) 1,000	(目標値) 1,000
実績値	(実績値) 490	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	49.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	3	3	3	4
二次評価	4	3	3	3	4

事業の実施理由	クライミングによるまちおこし事業の拠点施設である小鹿野町クライミングパーク神怡館の運営に係る費用。	
---------	---	--

事業の概要	小鹿野町クライミングパーク神怡館を運営するために必要な費用【必要経費】 需用費(消耗品・光熱水費・修繕費等) 3,645千円 委託料(保守点検委託料・振興公社委託料) 14,350千円 備品購入費100千円 役員費(通信運搬費・火災保険料) 292千円 使用料及び賃借料 266千円	
-------	--	--

事業の課題	小鹿野町クライミングパーク神怡館の業務委託先である小鹿野町振興公社の解体が予定されているため、早急に指定管理者による管理を検討して行く必要がある。令和6年度に公募による指定管理者募集を行ったが、指定管理料が高額であることから議員達からの賛同を得ることができなかった。令和7年度は年間の赤字相当額を1,500万円以内に納めることを目標とする。	
-------	--	--

今後の方針	令和8年度中の料金改定を目指し、令和7年12月議会にて小鹿野町クライミングパーク神怡館条例の一部改正を予定している。令和8年度は、更なる収益の増加を目指し、併せて令和9年度の神怡館指定管理化を目指して調整を行う。	
-------	--	--

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	令和7年度中に条例の一部改正を実施し、利用料金の見直しを行い、令和8年度からより一層の収益化を見込む。赤字幅を削減した上で令和9年度から指定管理者により管理を行わせるよう調整して行く。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	利用料金、利用時間の検討が必要。また、指定管理による運営を模索したい。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	3	[コメント]
1…事業自体見直し	1	4…現状維持	2	・地元秩父郡でも話題になっていないと思う。地域特典などで利用してもらいSNS等に発信して知名度話題を向上してもらいたい。 ・赤字を解消してほしい。 ・ネット利用のPRなど、情報面での強化をお願いしたい。
2…事業内容見直し	1	5…事業拡大	0	
外部評価結果 事業の見直し (積極的なPR活動を推進するとともに、運営方法について見直しを行う)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
指定管理者制度の導入検討。(事業実施期間・終期の設定が必要)	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	令和9年度から指定管理者による管理体制を導入することを目標に令和8年度中に調整する。(指定管理期間は令和9年度～令和11年度までの3年間。令和11年度に神怡館改修に伴う償還金の返還期限が終了するため、それまでに施設の運営方針についても再度検討する。)

評価年度	令和 7 年度
担当課所	まちづくり観光課

【基本情報】

事業名称	自然公園等維持管理費
------	------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	69	06	01	03	71	自然公園等維持管理費

事業期間	令和元年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	7,084	7,351	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,458	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	山岳や国民休養地に関する問合せ件数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 300	(目標値) 350	(目標値) 350	(目標値) 350	(目標値) 350
実績値	(実績値) 260	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	86.7%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	3	3	4	4
二次評価	4	3	3	4	4

事業の実施理由	埼玉県と自然公園施設（両神山地区）維持管理業務委託契約しており、町の観光施策においても、通年で入込客数を稼ぐ観光資源である。日本百名山の両神山や国民休養地のあずまや山などの自然資源を引き続き維持管理および活用し、観光人口の増加や安心安全のイメージアップに繋げる。
事業の概要	両神山を中心とした秩父多摩甲斐国立公園、四阿屋山を中心とした両神国民休養地、丸神の滝など小鹿野町自然公園内の維持管理、整備等を行う。また甲武信ユネスコエコパークに係わる事務推進を行う。
事業の課題	減少傾向であるが、山岳事故が発生している。初心者や高齢者の道迷い等を原因とする行動不能もある。また、人件費の高騰による歳出の増加。
今後の方針	山岳事故対策として、引き続き自然環境保全管理員と協働しながら案件に合わせて対策していく。花しょうぶ園の土壌改良など費用がかかる事象については、継続して埼玉県へ要望していき実施に向けて調整する。

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
18	次年度以降も継続して維持管理や施策を実施し、町民および観光客の誘客を図る。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
18	県の補助金確保に努め、自然公園の維持管理に努め、観光客を誘致したい。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	1	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	6	・経費が増加する分経済活動にもつなげてもら
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	Ⓐ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	まちづくり観光課

【基本情報】

事業名称	両神山自然環境整備事業
------	-------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	70	06	01	03	74	両神山自然環境整備事業

事業期間	令和4年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,530	104,084	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	両神山における登山者数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 28,000	(目標値) 28,000	(目標値) 30,000	(目標値) 30,500	(目標値) 31,000
実績値	(実績値) 27,000	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	96.4%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	3	3	4	5
二次評価	5	3	5	4	4

事業の実施理由	清滝小屋周辺を整備することにより、将来的な山小屋再開に繋がり新たな一次観光消費の発生や滞在時間の延長に伴う二次観光消費を町内に促し、観光消費額の増加を狙う。両神山全体の持続可能な山として保全できるよう整備を実施していく。
---------	--

事業の概要	令和3年12月に両神山の保全や活用を名目とした多額の寄付を受け、令和4年度に両神山自然環境整備計画を策定し、令和5年度に関係団体や関係者を含めた会議を重ね、令和6年度に旧両神神社小鹿野講参籠所改築工事の設計業務委託を実施し、令和7年～令和8年度に両神清滝ヒュッテ新築工事を実施する。
-------	---

事業の課題	山岳土木工事業者の選定、資金調達。
-------	-------------------

今後の方針	令和7年～令和8年度に両神清滝ヒュッテ新築工事の実施。工事完成後、電波環境の整備を実施し、登山者の利便性や満足度向上など新たな体験価値を提供し、登山者交流や賑わいを創出する。また、防災的な観点から休憩拠点として活用し、登山者の無理な登山計画の抑制をして、山岳事故防止対策に繋げる。併設する研究室を両神山の動植物生態系保全や植生回復を見据えた研究拠点として活用する。将来的には、管理人を在駐させ清滝小屋を再開させる。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
20	令和4年度より計画策定し、協議会と合意形成を図りながら清滝小屋周辺整備開始までたどり着いた。両神清滝ヒュッテ完成後は、ヒュッテを中心とした電波環境の整備を実施したいと考えている。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
21	両神清滝ヒュッテ新築工事は受注者が無く難航しているが、県補助や岡本財団の寄附金、クラウドファンディングなどの活用により、両神山登山客の安全確保のためなんとか完成させたい。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

				【コメント】
0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	7	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	産業振興課

【基本情報】

事業名称	85 特定地域づくり事業費
------	---------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	85	06	01	02	23	特定地域づくり事業費

事業期間	令和4年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	4,350	7,500	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	2,000	0	0	0
その他	1,750	0	0	0	0
一般財源	9,389	7,500	0	0	0

補助事業名	特定地域づくり事業推進交付金
-------	----------------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	設立後5年で運営支援費(赤字補填)を0円にする				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 4,999,000	(目標値) 2,000,000	(目標値) 1,000,000	(目標値) 0	(目標値) 0
実績値	(実績値) 4,999,000	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	3	3	5	4
二次評価	3	3	3	5	4

事業の実施理由	特定地域づくり事業協同組合は、令和3年度(令和4年3月)に設立
---------	---------------------------------

事業の概要	地域社会の維持及び地域経済の活性化に寄与する人材の確保及びその活躍を推進するため、特定地域づくり事業協同組合へ補助金を交付する
【必要経費】	特定地域づくり事業協同組合 補助金 17,000千円(特別交付税措置あり)

事業の課題	4年目となるが、事業運営費において、町負担を軽減するための精査が必要
-------	------------------------------------

今後の方針	県内唯一の組合のため、運営について近隣での比較ができないが、県及び優良組合の情報収集を行い、今後の運営計画(方向性)を作成
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
18	次年度以降活動を通じて、町民に対して必要性のある活動が実施出来るよう改善していく	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
18	組合独自自主運営が行えるよう財源の確保と事務運営の見直しを検討する。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0...廃止した方がよい	0	3...他事業と統合検討	1	【コメント】
1...事業自体見直し	1	4...現状維持	2	
2...事業内容見直し	3	5...事業拡大	0	
外部評価結果				
事業内容見直し				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
特定地域づくり事業協同組合の事業内容を町民に良く知らせるPRが必要。	① 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	本協同組合の取組は、働く人、事業者、地域にとって雇用の確保と地域の活性化につながるものであり、町と協同組合が連携し「広報おがの」や町ホームページ等での情報発信を行う。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	まちづくり観光課

【基本情報】

事業名称	女性の就労支援・コミュニティ形成事業
------	--------------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	50	02	01	05	50	女性の就労支援・コミュニティ形成事業費

事業期間	令和6年度 ~ 令和11年度	事業終期	令和11年度
------	----------------	------	--------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	2,500	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	3,697	4,850	0	0	0
一般財源	409	6,292	0	0	0

補助事業名	特別交付税措置、地域女性活躍推進交付金
-------	---------------------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	業務を受注したテレワーカーの数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 5	(目標値) 15	(目標値) 20	(目標値) 22	(目標値) 22
実績値	(実績値) 14	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	280.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	5	3	5	4
二次評価	5	5	4	5	4

事業の実施理由	「子育て世帯が働きやすい町」ブランディングによる子育て世帯の移住者の獲得・定住促進を図る。	
---------	---	--

事業の概要	テレワーカーの育成、仕事の受注できる仕組み作り、コミュニティ形成による子育て世帯が働きやすい町のブランディング 【必要経費】 集落支援員 委託料 4,850千円（特別交付税措置）	
-------	---	--

事業の課題	パソコンを使った仕事経験の無い方も多く、スキルアップが必要。	
-------	--------------------------------	--

今後の方針	前年度、今年度でテレワーカー育成事業を通してテレワーカーデビューした女性が仕事受注できるようスキル面等の研修やフォローを	
-------	--	--

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
22	テレワーカーの新規育成から、ニーズに応じたテレワーカーのテレワーク継続受注支援へとシフトする。	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
23	テレワーカー新規育成をさらに進め、小鹿野町の女性活躍をさらに進めたい。仕事の継続受注支援を進めることが重要。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	1	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	4	
2…事業内容見直し	2	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	産業振興課

【基本情報】

事業名称	83 中小企業資金対策費(貸付金利子補給金)
------	------------------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	83	06	01	02	17	中小企業資金対策費(貸付金利子補給金)

事業期間	令和元年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	844	994	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	本融資資金制度利用利用事業者数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 106	(目標値) 139	(目標値) 0	(目標値) 0	(目標値) 0
実績値	(実績値) 99	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	93.4%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	2	2	3	4	3
二次評価	3	2	3	4	3

事業の実施理由	事業者の安定的な経営を図るためには、経営基盤の強化とともに事業展開への支援が必要	
事業の概要	西秩父商工会を通じ株式会社日本政策金融公庫の国民生活事業における融資制度資金を借入れした場合、予算の範囲内で利子補給金を交付する。 借入金に対する年利子支払額の15%以内 【必要経費】 利子補給金 補助金 994千円(平均利子7,000円×142件)	
事業の課題	経営者の高齢化による後継者不足での廃業が散見される	
今後の方針	事業者の負担軽減を図り、経営の近代化に資するため、継続する	

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
14	次年度以降活動を通じて、町民に対して必要性のある活動が実施出来るよう改善していく	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
15	事業者の負担軽減を図り、経営の近代化に資するため、継続する	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	1	【コメント】
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	6	
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	産業振興課

【基本情報】

事業名称	87 新規学卒者等就職支援事業
------	-----------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	87	06	01	02	30	新規学卒者等就職支援事業

事業期間	令和6年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	1,870	3,360	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	地元企業への定住者(人/年間)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 10	(目標値) 10	(目標値) 10	(目標値) 10	(目標値) 10
実績値	(実績値) 15	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	150.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	5	4	5	4
二次評価	5	5	4	5	4

事業の実施理由	人口減少対策と町内事業所の雇用促進のため
---------	----------------------

事業の概要	若者の町への定住及び転入を促すとともに雇用機会の拡大を図るため、新規学卒者又は若年移住者に対し補助金を交付する 【必要経費】 新規学卒者17名 補助金 2,760千円 若年移住者5名 補助金 600千円
-------	---

事業の課題	対象者が町内事業所を就職先の選択肢としていただけるよう、企業情報の提供のための紹介ツールが必要
-------	---

今後の方針	関係機関(学校・ハローワーク等)と連携し、対象者への事業の周知
-------	---------------------------------

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
23	今後も継続して実施する必要がある	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
23	今後も継続して実施する必要がある	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	7	・雇い側企業の協力が不可欠であり、これまで以上に各社経営層と役場との交流・意見交換を拡大していただきたい。そのような中で、見学会や就労体験会などができれば、さらに前進すると考える。もし町内企業が社宅を持ち10名雇えば、人口10名増加、将来は結婚、子育て、と町の活性化につながる事が期待できる。
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	0	
外部評価結果 現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	産業振興課

【基本情報】

事業名称	企業支援事業中小企業等奨学金返還支援補助金
------	-----------------------

基本目標	② 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
------	------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	86	06	01	02	29	企業支援事業

事業期間	令和元年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	180	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	秩父定住自立圏措置
-------	-----------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	補助金を年間2人件以上交付する				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
	—	2	2	2	2
実績値	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
	—				
達成率	#VALUE!				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	2	3	2	3
二次評価	5	2	3	2	4

事業の実施理由	R7新規) 秩父定住自立圏 (産業部門) での実施
---------	---------------------------

事業の概要	中小企業の人材確保と若者の地元就職の促進及び負担軽減をはるため、奨学金返還支援制度を設けて従業員を支援する事業者に対し、補助金を交付する 【必要経費】 対象者 2名×90,000円 補助金 180千円 (定住予算措置)
-------	---

事業の課題	埼玉県中小企業等人材確保奨学金返還支援事業補助金の交付決定を受けた者が対象となることから、事業所の事前登録(奨学金返還支援制度の整備)が必要
-------	--

今後の方針	事業所への周知(県への登録を斡旋)
-------	-------------------

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
15	秩父定住自立圏予算での初年度事業のため、事業を推進する必要がある	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
16	秩父定住自立圏予算での初年度事業のため、事業を推進する必要がある	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	1	【コメント】 この制度は就労希望者の選択肢を増やし、定住に向ける活動として大変重要であると考ええる。
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	6	
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	